

1. 生産システム連携手法研究会(MESX)活動計画(1)

※Manufacturing Execution System eXchange

(1) iHCI(JISB3951)提案活動について

①ウラノスエコシステムとiHCIの連携を検討

a) ウラノスへJISB3951を提案

活動メリット: 採用可否に限らず興味を持ってくれそうなIT系企業へiHCIを紹介可能

② iHCI白書(1.0: 2021/10発行)の改訂版2.0を作成

a) AIや契約など、iHCIを使う為の周辺環境との関係や、メリット・デメリットを整理

b) 応用事例(ユースケース)を増やす

c) FAOPのWebページで公開

活動メリット: 宣伝途中参加のMESXメンバーも理解が進む。他社へも説明しやすい。

(2) その他テーマの新規募集について

MES周辺(OTとITの接続など)での課題や、検討テーマがあれば、
新たな取り組みとして実施していく。(→今年度の活動でテーマアップ)

(3) 標準化支援

・ISO TC 184 SC5 WG4(FAソフトウェア環境)への提案は終了

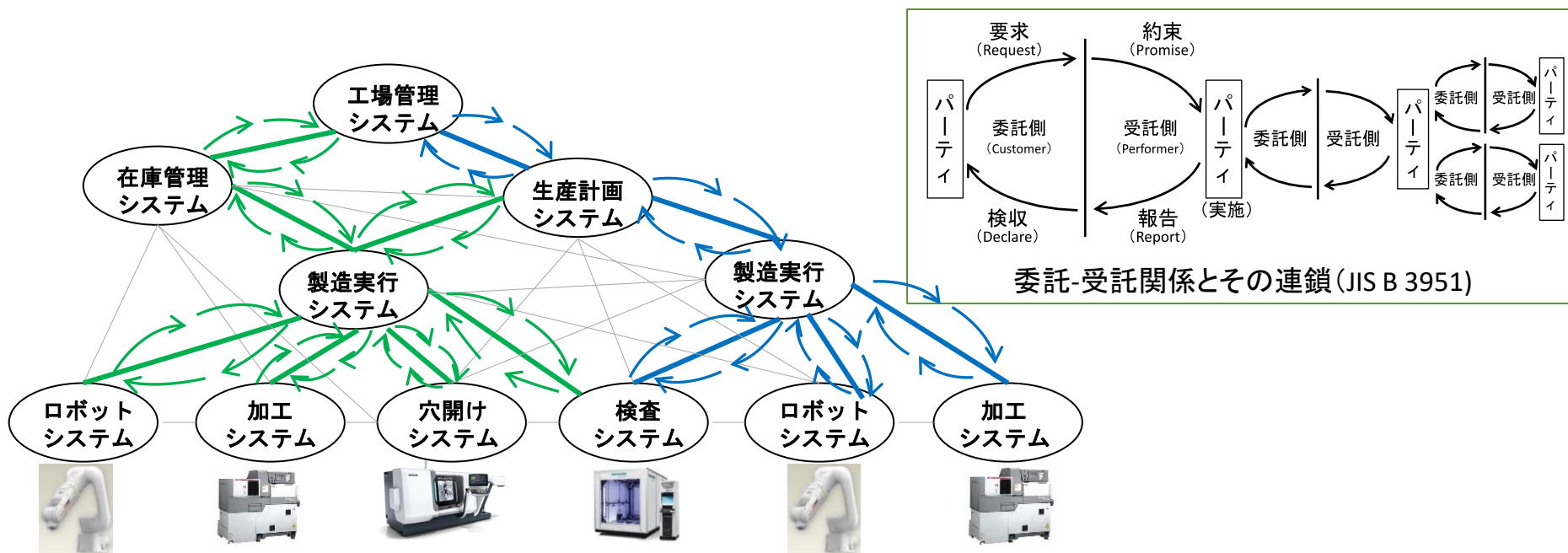
理由: 米コンビナー理解はある程度進んだが関連ISOとの関係性整理の難易度が高く、
費用面も経産省の委託事業が2024年度で終了し委員の国際派遣が困難。

・JISB3951の改定に向けた検討を実施する(iHCI白書改訂版2.0のJIS規格への反映)

1. 生産システム連携手法研究会(MESX)活動計画(2)

※Manufacturing Execution System eXchange

＜国際標準化提案の概要＞ “委託－受託関係”に基づいた二者間のサービスの授受を単位としたその連鎖による製造ソフトウェアシステム間の連携(水平連携・垂直連携)をすることで、簡単・安価で柔軟な協力ネットワーク構築方法を提供し、分散型の業務連携のためのシステム間の共通手順(プロトコル)及び交換する情報(メッセージ)のガイドラインを規定する。



”委託－受託”関係の連鎖に基づく協力ネットワークの構成